

## 今後の生涯学習振興方策について(審議経過の報告)のポイント

生涯学習の振興は、臨教審答申以降、関係者の努力により一定程度進展。

しかしながら、

### 現在の課題

1. 生涯学習が、あらゆる教育・学習活動の中で行われるものであることが、関係者等に浸透していない。
2. 公民館、図書館等の関係機関の取り組みが現在の社会の要請に必ずしも適合していない。
3. 生涯学習振興の基本的考え方が必ずしも明確に示されていない。

### 今後の生涯学習を振興していく上での基本的考え方

人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような「生涯学習社会」の実現が目標。

そうした「生涯学習社会」は、

「**個人の需要**」と「**社会の要請**」のバランスを保つ。

生きがい・教養・人間的つながりなどの「**人間的価値**」の追求と「**職業的知識・技術**」の習得の調和を図る。

これまでの優れた知識・技術や知恵を「**継承**」しつつ、それを生かした新たな「**創造**」を目指す。

ことにより、絶えざる発展を目指す社会

#### 生涯学習を振興していく上で 今後重視すべき観点

1. 国民全体の人間力の向上
2. 生涯学習における新しい「公共」の視点の重視
3. 人の成長段階ごとの政策の重点化
4. 国民一人ひとりの学習ニーズを生かした、広い視野に立った多様な学習の展開等
5. ITの活用

#### 今後重点的に取り組むべき分野

1. 職業能力の向上
2. 家庭教育への支援
3. 地域の教育力の向上
4. 健康対策等高齢者への対応
5. 地域課題の解決

関係機関・団体等の活動の活性化と、それを支えるための国、地方公共団体の役割について具体的に提案。